

博物館のお宝見

第5回 最古のねぶた絵

今回のお宝は、現存最古のねぶた絵です。152年前に、小島左近（さこん）という武士が描きました。ねぶたの起源については、戦前は坂上田村麻呂の蝦夷征討説、戦後は津軽為信の大灯籠説が知られていましたが、現在では、全国に分布する眠り流しの行事だと考えられています。行事の最終日（なぬかび）には水に流してしまって、通常古いねぶた絵は残りません。では、なぜ、この絵は残ったのでしょうか。明治元（1868）年、戊辰戦争の過程で弘前藩は隣藩の盛岡藩・八戸藩と戦火を交えました。この絵は、その直前に描かれたものです。両軍が戦闘する前の滞陣中に、弘前側では士気を鼓舞するためねぶたを作り、絵の上手な左近が腕を振りました。そして戦いが終わり、左近は戦死しましたが、絵は村人が秘蔵したため偶然残りました。

市立博物館が所蔵するお宝を、毎月紹介します。
■問い合わせ先 市立博物館（☎ 35-0700）

た。絵は5枚組で、扇ねぶたが誕生する前なので組ねぶたに使われたのでしょうか。絵の題材は五人ばかりで、ろう描きが施されています。4枚はほぼ同じ大きさで額絵、大きめの1枚は見送り絵だったのでしょうか。眠り流しとは農事の妨げとなる睡魔を流し去る行事です。睡魔とは夏の疲れやもろもろの悪いものを表し、ねぶたとともに魔を流して、健康で平和な毎日を願います。

市立博物館では、「弘前ねぶた展～節堂と龍峠の世界～」を開催中です。睡魔を流しにおいでください。



弘前の偉人たち

第5回 探検と開拓の先駆者 笠森儀助



市教育委員会が発刊している「新・弘前人物志」から、弘前が生んだ偉人たちを毎月紹介します。みなさんが知らなかった偉人と、出会えるかもしれません。

■問い合わせ先 教育センター（☎ 26-4803）

がほとんど分かっていないかった南西諸島や千島列島を調査に出かけます。さらに琉球や台湾、シベリアと調査を続け、奄美大島の島司や第2代青森市長も務めました。

儀助は71歳で死去しますが、その葬式は見送りの行列が延々と続いたと言われています。夢を追い続けた儀助の心意気が、弘前の人々の心を激しく打ったからでしょう。

「弘前人物志」は、弘前が生んだ・傑出した人物を、中学生の皆さんに知ってもらいたいという目的で1982（昭和57）年に初めて発刊されました。紹介した人物をもっと詳しく知りたい人は、「新・弘前人物志」をぜひ一読ください。



笠森儀助（ぎすけ）は、1845（弘化2）年に父重吉（じゅうきち）、母ひさの長男として弘前市在府町に生まれました。儀助は病弱な体質でしたが、母の励ましと自らの意志をもって鍛え、強靭（きょうじん）な体を作り上げました。1871（明治4）年の廃藩置県から、儀助は役人として働きますが、1881（明治14）年に中津軽郡長を辞任し、岩木山麓で農牧社を設立。乳牛を導入し、「牛飼い儀助」と呼ばれました。未開の地から、日本の新しい農業を樹立したいという雄大な構想を持っていた儀助は、1891（明治24）年に、実態

天決行)

▼持ち物 飲み物、昼食、タオル、替えの下着・靴下、雨具



▼参加料 無料
※事前の申し込みが必要。

問こどもの森ビジターセンター（坂元字山元、久渡寺境内、☎ 88-3923）

デイキャンプを楽しもう！

▼とき 8月4日（火）～6日（木）の午前10時～午後5時

▼ところ 百石町展示館

▼入場料 無料（製作体験会は材料費1,000円が必要）

問弘前文化財保存技術協会（今井さん、☎ 兼 ☎ 32-9272）

※令和2年度市民参加型まちづくり1%システム採択事業。

▼とき 8月29日（土）、午前10時～午後4時30分

▼ところ 弥生いこいの広場（百沢字東岩木山）

▼定員 10組

▼参加料 5,000円

▼申込期限 8月21日（金）
問弥生いこいの広場（☎ 96-2117）

暮らしのInformation

広報ひろさきに掲載した各種催しについて

広報ひろさきに掲載した各種催しや教室などは、新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止の観点から、中止や内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。詳しくは市ホームページまたは各問い合わせ先で確認を。

また、催しなどに参加する際は、マスクを着用するなど、感染症対策へのご協力をお願いします。

写真パネルで見る「原爆と人間展」

市では、核兵器の廃絶と世界平和の実現を願い、平成22年12月に平和都市を宣言しました。この関連事業として写真パネル展を開催します。

▼とき 8月4日（火）～17日（月）の平日、午前8時30分～午後5時（17日は正午まで）

▼ところ 市役所前川新館2階ギャラリー

▼観覧料 無料

▼その他 18日以降は写真パネルの貸し出しもできます。
問市みどりの協会（☎ 33-8733）

津軽こぎん刺し展

▼とき 8月1日（土）～16日（日）の午前9時～午後5時

▼ところ りんご公園「りんごの家」（清水富田字寺沢）

▼内容 岩木かぢやらず会出展の、津軽に伝わる伝統工芸品「こぎん刺し」の作品展示・販売
問りんご公園（☎ 36-7439）

金魚ちょうちんと金魚ねぶたの展示会・製作体験会

金魚ねぶたと、金魚ねぶたをもとに作られた山口県柳井市の「金魚ちょうちん」の共演を、ぜひご覧ください。

▼とき 8月4日（火）～6日（木）の午前10時～午後5時

▼ところ 百石町展示館

▼入場料 無料（製作体験会は材料費1,000円が必要）

問弘前文化財保存技術協会（今井さん、☎ 兼 ☎ 32-9272）

※令和2年度市民参加型まちづくり1%システム採択事業。

緑の相談所

8月の催し

【講習会】

●秋まき野菜の栽培

1日（土）

午後1時30分～3時30分

●夏の病害虫防除

8日（土）

午後1時30分～3時30分

【展示会】

●観葉植物展

1日（土）～16日（日）

【訪問相談】

8日（土）・22日（土）

※庭木の出張診断です。電話で申し込みを。

【弘前城植物園…今月見られる花】

スモークツリー、ハス、ノウゼンカズラ、ハギなど

問緑の相談所（弘前公園内、☎ 33-8737）

こどもの森の催し

【月例登山「盛夏の山 太陽の道】

▼とき 8月9日（日）、午前9時30分～午後2時30分（雨